

2005年5月26日

各位

双日株式会社

新日本製鐵と双日、
韓国・ポスコからコークス乾式消火設備（CDQ）を2基同時受注

新日本製鐵株式会社と双日株式会社は、韓国のポスコ建設（POSCO E&C 代表者：韓 秀洋）と共同で韓国のポスコ（POSCO）からコークス乾式消火設備（Coke Dry Quenching equipment / CDQ）を2基同時受注しました。

受注したCDQは、ポスコの浦項製鉄所の第一コークス炉とこれから建設される第五コークス炉にそれぞれ1基ずつ新設されます。現在、新日本製鐵のCDQは、ポスコ光陽製鉄所で1基が建設中、ポスコ光陽・浦項製鉄所で4基が稼働中であり、これらの建設と操業の実績が評価され今回の受注となりました。

製鉄所およびその近隣の環境対策の必要性、CO₂削減および省エネルギーの要求が世界的に高まる中、CDQはこのような市場ニーズに合致した設備であり、その設置ニーズもこれに追随するものと考えられます。新日本製鐵と双日は今後もCDQなどの環境・CO₂削減・省エネ設備商品の拡販に注力して参ります。

【新日本製鐵と双日のポスコ向け受注実績】

2000年	コークス乾式消火設備（CDQ）2基 ブルーム連続鑄造設備
2001年	排ガス処理設備2系統
2002年	電気亜鉛メッキライン改造
2003年	コークス乾式消火設備（CDQ）2基
2005年	コークス乾式消火設備（CDQ）2基（今回分）

CDQ について

CDQ はコークス炉で乾留された赤熱コークスを冷却塔内を流れる不活性ガスで消火する設備です。密閉した冷却塔内で消火されるため従来の湿式消火法で問題視されていた粉塵の飛散を防ぐことができ、環境に優しい設備となります。また、赤熱コークスの顕熱はボイラーで蒸気として回収され発電等に使用されます。赤熱コークスは CDQ 設備で徐冷されるためコークス品質が向上し高炉操業が安定するなどの大きな導入効果があります。

CDQ は新日本製鐵（プラント・環境事業部）の主力商品のひとつであり、今回の受注により、新日本製鐵の CDQ 設備の納入・受注実績は新設 4 基、改造 6 基と合計で 50 基に達します。新日本製鐵は、最近では中国における CDQ 設備およびその他省エネルギー・環境保護設備の設計、製造、販売等を目的として北京首鋼設計院と合弁にて北京中日聯節能環保工程有限公司を設立し、2004 年に中国の武漢鋼鉄 No.2 CDQ 新設を受注する等、積極的な営業展開をしています。新日本製鐵の CDQ は独自技術であるコークス装入分散装置や給水予熱器等を装備しており、コークス冷却性能が高く、少ない冷却ガス量で効率よく熱回収を行うことが可能です。加えて、連続排出装置を装備することにより、コンパクトかつメンテナンス性に優れた設備です。

【CDQ 設備能力】（浦項 No.1 コークス炉、No.5 コークス炉向けとも同能力）

- | | | | |
|------------------|---|--------------|--------------|
| 1.コークス処理能力 | : | 95 t/h | |
| 2.蒸気発生量 | : | 58 t/h | |
| 3.発電量 | : | 14,000 Kw | |
| 4.タービン・ジェネレーター方式 | : | 復水方式 | |
| 5.スケジュール（予定） | | <No.1 コークス炉> | <No.5 コークス炉> |
| FOB 開始 | : | 2005 年 11 月 | 2006 年 8 月 |
| 赤熱コークス投入 | : | 2006 年 11 月 | 2007 年 8 月 |
| 発電開始 | : | 2006 年 12 月 | 2007 年 9 月 |

【本件に関する問い合わせ】

双日株式会社 広報部 03-5520-3185